



# ナイストライ

平成29年度 第1号  
瓜生小学校校長室だより  
H29.4.7 (発行者 田中)

4月6日(木)に、22名の1年生を迎えて瓜生小学校の入学式が行われました。今日は、1年生も上級生と一緒に、元気に集団登校で学校に来てくれました。

新入生と保護者のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私も校長として2年目を迎えました。昨年よりもさらに前進できるように、教職員が一致団結して取り組んでまいりたいと思います。瓜生の子どものたちの健やかな成長のために一生懸命がんばりたいと思います。どうかよろしく願いいたします。



## 職員紹介

よろしくお祈りします。

1年生担任	石地伸江	校長	田中孝明
2年生担任	細井奈菜	教頭	津田雅幸
3年生担任	田中慶知	教務主任	高橋善彦
4年生担任	大峽美紀	養護教諭	岡本裕美
5年生担任	松宮 誠	事務職員	高橋香苗
6年生担任	谷保裕子	学習支援員	小林圭子
なかよし担任	大上信幸	調理員	坊佳代子
初任者指導	上野庄一	校務員	丸山廣子

## 校長のつぶやき

私は、4月初めの職員会議で、今年1年間を通して「自己有用感」を育てることを提案しました。自己有用感とは、「自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということをも自分自身で認識すること」です。自己有用感には自分に自信を高め、安易に問題行動に走ることを抑止したり、危険なものに近づくことを抑制したりする働きをもちます。

学校生活に置き換えると、仲間と力を合わせてやり遂げたことに役に立った、下級生からありがとうと言ってもらった、憧れの存在となることができた、友達に頼りにされた、などを経験させてあげることかと思えます。能力が高くても自分のことしか考えられないのでは、これから必要とされる人から漏れていくと思えます。

1学期の始業式で、子ども達に「誰かのために役に立てるよう努力をしてほしい」とお願いしました。今までも体育大会や遠足、委員会活動など、リーダーを中心によくやってくれていました。今年は、教師が指導するというスタンスから、必要最小限の助言・支援をすることとして、完成度は高くなくても自分たちの力でやり遂げたという、成就感・達成感を育んでいきたいと考えています。保護者の皆様のご理解をよろしくお祈りします。

また、自己有用感家庭で芽生えたと、ある本に書いてありました。家庭で自己有用感を育むための手立てとして、①スキンシップを通して温かさを伝える、②親子で一緒に過ごす体験をする、③ほめる・励ます・認める声かけをする、ことが大切だそうです。

子どもが大人に言われて1番うれしい言葉は、「ありがとう」だそうです。「あなたのおかげよ」も有効です。

決して私も望ましい家庭を築いたとは言えませんが、すべて社会人となったわが子らに、「ありがとう」「あなたのおかげよ」と声掛けをしていこうと決意しました。

## 4月の主な行事予定

- 7日(金) 第1学期始業式
- 10日(月) 給食開始
- 12日(水) 身体計測
- 13日(木) PTA三役会 19:00
- 13日(木) PTA委員会 19:30
- 18日(火) 全国学力・学習状況調査  
(6年生)
- 19日(水) 内科検診 1~3年
- 20日(木) 内科検診 4~6年
- 21日(金) 歯科検診(全学年)
- 22日(土) 教育懇談会・PTA総会
- 24日(月) 振替でお休みです
- 28日(金) 交通安全教室
- 29日(土) 昭和の日 瓜生地区敬老会  
2・4年生出演